

「HP 掲載文」

平成 23 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院で
急性膿胸と診断され、手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名:急性膿胸に対する至適な治療戦略と手術適応に関する検討

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成 23 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の間に、当科において急性膿胸に対して手術を受けられた患者さんについて、急性膿胸に対するより有効な治療戦略や適切な手術時期とその適応を検討するための後方視的調査研究を実施します。

急性膿胸に対する手術療法（胸腔鏡下搔爬術）は一般的に行われていますが、手術困難な症例や術後に膿胸が再燃する症例も少なくありません。そこで、今研究では、急性膿胸に対する手術困難や術後再燃の要因を明らかにして、急性膿胸に対するより効果的な治療戦略を構築することを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日から 2 年間の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供したりする可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は教員研究費を用いて行う研究であり、この研究を実施する関係者には協和発酵キリン株式会社より奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係のない企業です。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属 呼吸器外科学 職名 講師 氏名 最相 晋輔

TEL：086-462-1111（内線 44323）

FAX：086-464-1124

E-mail：s.saisho@med.kawasaki-m.ac.jp